



はくび通信

第
2063号
25

朝活にいかがですか？ 万松寺 三宗合同朝課



万松寺では今年の4月から新たな試みとして、曹洞宗・真宗大谷派・真言宗の三宗派による『三宗合同朝課』を毎月8日に営んでいます。朝課とは、お寺で朝に行うお勤めのことで「朝課諷経」「お朝事」「朝勤行」などといわれるものです。

これまででは他の寺院と同じように各宗派単独で決まった日にちにうって行きましたが、同じ日に行うことで、それぞれの宗派の作法やお経の読み方に触れる良い機会となるのではないかと考え挑戦することにしました。

実際に行ってみると同じ仏教であつても細かな所作などが異なることがわかり、奥深さを感じます。例えば皆さんもおそらく一度は耳にしたことのある「南無●●」というお唱え。この「南無」とは皈依する、よりどころとすることを意味します。もちろん三宗派とも仏教なので、仏さまに皈依するという点は同じなのですが、宗派によって仏さまが異なります。

■曹洞宗・南無釈迦牟尼仏

釈迦如来に皈依。

■真宗大谷派・南無阿弥陀仏

阿弥陀如来に皈依。

■真言宗・南無大師遍照金剛

弘法大師と大日如来に皈依。

今回この新たな試みを行うにあたり、昔に比べて仏教儀式に触れる機会が減っている中で、いかに分かりやすく親しみやすい朝課になるかを考えました。その結果、たとえ宗派が違っていてもどこかで見聞きしたことがあるお経などで組み立ててみました。

例えば曹洞宗では写経などでも知られる般若心経を、真宗大谷派では門徒さんがよく知る正信偈を取り入れました。真言宗については密教であるということからお経などは難しいと考えて、ご詠歌であるいろは歌を取り入れました。

現在は先行して万松寺職員が参列していますが、おおむね評判良いと自負しております。

なお、9月8日からはどなた様にも参列いただけるように、ご唱和用の資料や、これからどのようなお経が読まれるのかを説明できるように準備を重ねております。

また、真宗大谷派につきましては、従来通り毎月16日に単独でお朝事を営んでいます。9月からはこちらにも参列いただけます。

朝の30分は貴重な時間かとは思いますが、気持ちを落ち着かせるための朝活としてお気軽に参列いただければ幸いです。

■三宗合同朝課

毎月8日 9時～

■真宗大谷派 お朝事

毎月16日 10時～

行事等により変更となる場合がございます。

秋期 不動明王 大祭

9月28日 日

受付 9時半から14時

信長の窮地を救った
霊験あらたかな
「身代不動明王」が
身代わりとなり、
護ってくださいます。

◆ご希望の願いを 祈りたいします。

- ・厄難消除・無病息災
- ・病氣平癒・身体健全
- ・家内安全・交通安全
- など

◆大般若 一万円
(大般若札 身代わり餅)

◆祈 禱 五千元
(御札 身代わり餅)

ご予約は
電話 WEB
総合受処にて承ります

住職の小噺



ご縁がつなぐ笑顔

この歳ともなると知人の定年退職や通夜などで、久しぶりに連絡を取ったり顔を見たりする機会があり、会話をしていると不思議なご縁を感じるものです。そこで今回は「ご縁」について思うところをお話します。

■供養×ご縁

先日、万松寺のセレモニーホールに展示されている、故人の夢や共に歩むはずだった未来が描かれた『絆画』の前で会話をしているご家族を見かけました。そのとき、私が初めて絆画に出逢い、供養の在り方も時代と共に変化する部分があるのだと感じたことを思い出しました。

かつての法事は、故人とご縁を結んだ多くの人が集まり、過ぎ去った日々を偲び懐かしみ、冥福を祈る場でした。しかし近年、核家族の増加やコロナ禍などの時代背景もあり、法事は簡略化され、親族ですら集まらないうことがあります。いくら供養の在り方が時代と共に変化しているとはいえ、そのような話を見聞きすると、供養の本質が伝わっておらず寂しさを感じます。もともと供養とは、ご縁を結んだ人々が故人を偲び尊び、ご縁に感謝し、ご縁から生まれた

つながりを後世に伝えていくために営みます。また法事とは、同じ想いを持つ人が集い語らい、笑顔で未来を生きていくための大きなエネルギーを培う場でもあるのです。

■お寺×ご縁

いつの日からかお寺というと余程の観光寺でもない限り、故人とご縁をつなぐ場所だと伝わっているように感じます。しかし、お寺が結ぶご縁には様々なものがあります。

例えば、仏さまの由来に基づいてご縁が深く結ばれるといわれる縁日や大祭などの行事、人生の節目などに願いが叶うように受けるご祈祷、そしてよく知られる葬儀などです。また仏さまとご縁のほかにも、行事や寺子屋、講座などで顔見知りになることから結ばれるご縁もあり、その輪がひろがっているのは嬉しく思います。

■日本文化×ご縁



最近私が気になっているのは「敷居を踏んではいけない」という教えを知らない方が意外と多いということです。この教えには敷居が家の象徴であるとか、結果の役目を果たすという意味のほかに、立て付けが悪くなるのを防ぐといった物理的な意味

もあります。つまり、人も物も出来事も、すべてはご縁があつて成り立っているという、日本独特の考え方が根付いている教えなのです。

仏教が伝来する以前、日本にはあらゆるものに神が宿っていると考えられていました。その八百万の神という考えに、仏教の「縁起」という教えが伝え合わさり、奥ゆかしい日本文化や伝統を築いてきたのです。

近年、そういった日本文化や伝統の体験を求めて海外から来られる方が増えているという情報を目にします。今の世の中は、世界中で争いや災害が起きるなど混沌としています。だからこそ、ご縁に感謝し、相手に敬意をはらうという古き良き日本の考え方に魅力や心の落ち着きを感じられるかもしれません。

実際に来寺された海外の方とお話すると、日本に住んでいる私たちがより詳しいのではないかと思います。ご縁についてお話しました。これから先、皆さまの身近にあるご縁をどなたかにつないでいただき、笑顔あふれる日々を過ごしていただければ幸いです。



合掌

万松寺住職

大藤 元裕

これからの行事

8/29 (金)

旧暦七夕

願いを込めて奉納された短冊に、諸願成就の祈禱を行います。



9/23(火祝) 24(水)

秋彼岸 合同法要

彼岸（浄土）と此岸（現世）が近くなるとされる彼岸の時期に、追善供養を営みます。

9/28 (日)

秋期 不動明王大祭

身代不動明王のご真前にて、災難消除、病氣平癒、無病息災、身体健全、交通安全、家内安全の祈禱を行います。

12/7 (日)

スジャータまつり

成道会を祝うと共に、苦行で倒れたお釈迦様を救ったスジャータの功績を称えます。

■スジャータまつり宵山
6日(土) 境内

12/8 (月)

成道会

お釈迦様がお悟りを開かれた日に、偉業を称え報恩感謝の法要を営みます。



不動明王 縁日護摩

毎月28日

一部 15時〜16時半
二部 19時〜20時
●身代わり餅つき18時●

行事・祈禱・供養のお問合せ・お申込みは
祈禱受処 または
052-1262-10735
にて承ります。(年中無休)

僧侶が教える

仏教の豆知識



【身・口・意の三業浄化】

私達は社会生活の中で、人と関わりを持つことが必須です。円滑な人間関係を維持できている時は、お互いが相手に良い印象を持って接していることが多いでしょう。しかし、人間関係がうまくいかないと感じる時、お互いに良くない印象を持ってしまっているのかもしれないかもしれません。

その様な時に、相手の意識を変えるのは困難ですが、まずは自身の気持ちを整えるために参考にしたいのが「三業の浄化」という仏さまの教えです。自分の意識を変えると、感性や価値観も変わりはじめ、普段何気なく目にしていたものを美しく感じるかもしれません。

三業のことを身口意（しんくい）とも言いますが、今回は順序を変えて「意」「身」「口」それぞれにどのような意味が含まれているのかをご紹介します。

■「意」相手を想うこと

ご自身が意志を持つて、相手を思いやることです。

何事も気持ちが入められていなければ、形だけの行いになり、相手に思いは伝わらないでしょう。心や意識は揺れ動きやすく、時に脆い存在となるものですが、「軸」や「核」となるような強い意志を持つことで、ぶれない強さを保つこともできます。

■「身」身体的な行動

自分の行いを省みることや、何かしら行動を起こすことです。

例えばご自身の日々の行いや振舞いは、周囲の人を不快にさせていないかなど、時には自分を客観視して考えてみることも大切です。そこには相手を大切にする行動も含まれます。例えば誰かをお招きした際に、季節に応じた適温の飲み物を用意することや、快適に過ごせるような心遣いをするなど、相手が喜ぶことを考えて行動してみましよう。

■「口」相手を考えた言葉かけ

相手が嬉しい、ありがたいと感じられる言葉を口にする事です。例えば職場やご家庭などで、一生懸命にその方が成し得たことを「よく頑張りましたね」、「ありがとう」などと真心を込めて励みや感謝の言葉を述べる、相手を思いやる言葉を使うことも含まれます。しかし、仏さまの教えの一つである、嘘をつくことは「妄語」といって口による悪として位置付けられているため、気を付けることも大切です。



三業の浄化を実践して、習慣付くと、ご自身の中で少しずつ変化を感じられるでしょう。しかし時には、誰かを腹立たしく感じることもや相手に悲しい思いをさせられるなど三業の浄化を継続することが困難と感ずることがあるかもしれません。そのような時は、誰しも心の中に仏さまを持つて、「仏性」という教えを思い出し、自分の心の仏さまに問いかけてみてください。仏さまの考えは自他ともに大切であり、互いを敬う気持ちを持ちを思い出させてくれます。

三業の浄化と仏性の教えを心にとめることができるとき、あなたの周りでは円滑な人間関係が築けることでしょう。一度では伝わらなくてもいつか必ず伝わる時がくると信じて、ぜひご自身とお相手の心に宿る仏さまに真心を込めて合掌されてみてはいかがでしょうか。



Pick Up 万松寺

新しい授与品のご案内

限定御朱印

四季の記念書秋詣
9月中旬予定



※画像はイメージです

仕事守

9月上旬予定



良縁成就御守

10月後半予定



大人の寺子屋

万松寺住職との
気楽なお茶会



講師

万松寺住職 大藤 元裕

開催日

9月7日 10月5日

11月2日

時間

10時半～12時

参加費 300円

(お抹茶・お菓子付き)

※行事などにより、日時・会場の変更や中止となる場合があります。

この「はくび通信」ご持参にて
1回無料でご参加いただけます

万松寺の仏教講座



坐禅会

毎週日曜日 9時～10時

写経会

毎月第2土曜日 16時～17時半

写仏会

毎月第1・3土曜日 16時～17時半

仏教勉強会

毎月第4土曜日 16時～17時半

参加費 500円

お申し込み・お問合わせ

WEB 万松寺 学び舎

電話 052-262-0735



万松寺日記

春期 不動明王大祭

■令和7年5月28日（水）
身代不動明王のご真前にて災難消除、病氣平癒、無病息災、身体健全、交通安全、家内安全の祈禱を行いました。



放水訓練

■令和7年7月30日（水）
災害時の火災を想定し、職員による放水訓練を行いました。武蔵川部屋の方にもご参加いただきました。



武蔵川部屋 名古屋場所宿舎

■令和7年6月29日（日）
～8月3日（日）
武蔵川部屋が万松寺を宿舎として名古屋場所に臨みました。



■令和7年7月11日（金）
必勝祈願の祈禱を本堂で行いました。



お盆合同法要

■令和7年7月13日（日）
8月10日（日）
11日（月祝）
12日（火）
ご先祖様や大切な方が浄土から現世に帰ってくる旧盆の時期に、追善供養を営みました。



迎え火・送り火

■令和7年8月12日（火）
15日（金）
「迎え火」では、12日にご先祖様の精霊をお迎えしました。「送り火」では、15日にお盆の間一緒に過ごしたご先祖様の精霊をお送りしました。



家族葬見学会

■令和7年8月10日（日）
～12日（火）
万松寺の葬儀プランについて、祭壇やパネルを展示した見学会と個別相談会を行いました。



施食会

■令和7年8月24日（日）
ご先祖様と全ての精霊に、水の子を供え、甘露門を読経する追善供養を営みました。



セレモニーホール
きちょう

きちょうホールに絆画が常設展示されています。

葬儀、法要等で使用の際はご来場をお断りする場合がございます。

絆画作家 大村 順 個展

きずなえてん
絆画展

～ともに生きること～

10.17 Fri. - 19 Sun.

入場無料 10:00 - 17:00

万松寺 白龍ホール（白龍館2階）

